

京都教区時報

京都教区広報委員会

編集長 村上透磨

京都市中京区

河原町通三条上る

TEL 075-211-3468

FAX 075-211-4345

kouhou@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3頁 ステファノ 北村 善朗神父 司祭叙階25周年 感謝ミサ

4頁 こんにちは神父さん(ジャン レイモンド ジラルド神父/谷口 秀夫神父)

8頁～10頁 2015年 京都司教区 会計報告

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶺崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 079-431-8601

2016年 司教年頭書簡 御父のように、いつくしみ深く

8. 御父のように完全になりなさい

「御父のように」と言われると、思わずしりごみをしてしまう。「とうていそれは無理ですよ」と思ってしまう。そこで「ように」という前置詞の意味を探ってみます。すると「ように」には「従って」という意味もあるのです。ここでは「同等性」を表すよりも「従い倣うこと」と解釈すべきだと思います。もう一つ大切なことは、聖書の言葉は、その文脈(即ちその文章の前後関係)に注意すべきです。山上の垂訓と呼ばれるこの教えの中で、主は神の国の義の原則的な教え(マタイ5・1～10)を述べた後に、あなた方への私の教えは律法を超越するもの、律法学者やファリサイ派の人たちの生き方以上の生き方をもとめ、神のみ旨を本當に行う生き方をしなければならぬ(マタイ5・17～20)と語り、律法の教えとして、彼らが大切にしていた善業(祈り、断食、施し)をあげ、それぞれ、その律法の本質に帰るべきだと教えるのです。そして更にファリサイ派の人たちの義を

超える義(マタイ6・1～18)を勧め、次に異邦人を超越し(マタイ6・19～34)、そしてキリスト者の卓越性(マタイ7・1～12)や生き方の新指針(7・13～23)を伝えようとしています。しかも、このマタイ5・48の直前に、天の父は、悪人にも善人にも太陽を昇らせ、雨を降らせる神。だれをも差別せぬ愛と恵みをくださる神の慈愛を語ります(マタイ5・45～46)。その結論として、「天の父が完全であられるように、あなた方も完全な



特別聖年「いつくしみの扉」
カトリック河原町教会司教座聖堂

5
2016

者となりなさい」(マタイ5・48)。

それと対応するのが、ルカの「あなた方の父が慈悲深いように、あなた方も慈悲深い者となりなさい」(ルカ6・36)ですが、なおそれでは言い足りないかのように語り続けるのです。ここでも文脈から理解すべきです。

ルカ6・20～49はフランシスコ会聖書訳によると

(ここからはフランシスコ会聖書訳参照)まず、

6・20～26 幸いと不幸

6・27～35 敵を愛せよ

6・36 あなたの父が慈悲深いように、あなたがたも慈悲

深い者となりなさい。

6・37～42 人を裁くな

6・43～45 良い木と悪い木

6・46～49 聞くことと行うこと

となっています。

敵を愛しなさい(ルカ6・27～36)はマタイ5・43～48とほとんど同じですが、ルカの特徴はルカ6・37～38にあります。ルカは人を裁かない(マタイ7・1～5

と共通)だけでなく、「罪に定めない」「ゆるす」「与える」を加えていることに注目すべきだと思います。

教書(司教年頭書簡)も、「完全な者になる」とは罪のない完璧な人間を目指すことではありませんと、そして、神の似姿として創造された人間の目的、すなわち、神の愛を受けるにふさわしい者となるために、何事も愛を動機に、愛と目的を正しく識別し、出来ることは何でもやり尽すことであり、これが、ファリサイ派の人たちや律法学者に優ることとなると語り、「神を愛する」ことは「律法を全うする」(ローマ13・8)ことであり「完全な愛に至る」ことはキリスト者の召命であるとも述べています。ですから、このローマ書も(12章～15章を含めて)読まれることをお勧めします。

更に「愛は完全さをもたらす帯(コロサイ3・14)」を語る箇所(コロサイ3・5～17)。

エフェソ5・1では、「神に愛された子として」「神に倣うものになりなさい」と語ります。

また、エフェソ4・1～5・21の箇所

なども参照して読むべきです。それから「神は愛である(一ヨハネ4・7～5・1)」とのことから、全ての愛が生まれるのだと言う(一ヨハネ2・7～4・21)ことに根拠を置くのです。また、対神徳と呼ばれるものの中で、愛こそ最高のものだということも私たちはよく知っています(一コリント13章)。

さて、ここで言う徳は、何か勲章や飾りのようなものではなく、神の愛と霊、恵みと命による出会い(関わり)だということをお忘れではありません。

最後に、ここに引用されている教会憲章(40)からは、「全ての人が聖性に招かれてゐる」ことを語っていますが、そこで見落としてはならないのは、聖性を全うするための「聖霊の働き」と「祈り」の重要さです。父の完全性への招きに応えるには、人間は自分の不完全さを痛感し、神の助けなしには、この招きを達成することは出来ないことに気付かされます。そのため「聖霊の働き」と「祈り求める心」に深く根ざした私たちの「謙虚さ」が求められるのです。

(村上透磨)

祝 ステファノ 北村善朗神父

司祭叙階25周年 感謝ミサ



京都教区 信者一同からの霊的花束
(大塚乾隆助祭の手元)



1963年1月19日 滋賀県米原市で生まれる
1991年3月21日 田中健一司教により
河原町教会で司祭叙階
2016年3月21日 司祭叙階25周年

こんにちは神父さん



ジャン レイモンド ジラルド 神父

所属 レデンプトール会
生年 1941年
叙階 1971年

私はジャン レイモンド ジラルド神父です。カナダのケベック生まれで、レデンプトール会会員です。カトリックの家族出身なので、生まれた真冬の日にもかかわらず当日教会に連れて行ってもらって受洗しました。覚えていません。11人兄弟の末っ子です。現在74歳です。今年の夏、休暇をいただいて帰国するつもりですが、大変です。帰ると家族が集まります。100何十人ですが、半分知らないのです。兄弟、甥、姪あたりは何とかありますが、甥姪の子供たちは全く知らないのです。しかしそれなのに、私の帰りを待っていてくれて、喜んで集まってくれて、私には何とも言えない感動です。

来日51年です。神学生として日本に来ましたが、まず六本木のフランシスコ日本語学校に2年通って、上智大学神学部に入りました。1971年5月29日聖霊降臨の祝日に、自分の生まれたサンジェルヴェー村の教会でレデンプトール会の司教の手で司祭叙階を受けました。それ以来、日本に戻ってきて、本部の6年間の仕事以外は、小教区で働いてきました。自分に与えられた召命をずっと感謝しながら働けたことは、神様の深い慈しみによるものだと思っています。



谷口 秀夫 神父

所属 レデンプトール会
生年 1951年
叙階 1990年

はじめまして。とは言っても、京都教区は初めてではありません。1996年から2004年まで北部で働いていました。久しぶりに戻って懐かしいです。それに舞鶴は私のさとです。趣味というほどのものではありません。そのときどきで、面白いと感ずることを、あれこれやってきましたので。ただ数年前から人に勧められて写真を始めたのですが、これがいつまでも入門の域を出なくて…。好きなみことばも、ないわけではありません。折節支えられ、慰められ、力づけられてきましたので。ただ叙階当時、ある高齢の神父さんが言った言葉をヤケに憶えています。「肩の力が抜けるまで10年はかかるぞ」と。25年経ちますが、未だに…。ま、そういうわけで面白味のない男と思われましょが、ご愛顧のほど、お引き回しのほど、よろしく。

京都済州姉妹教区交流委員会

今回は、2015年9月以降に行われた交流についてご報告します。

2015年

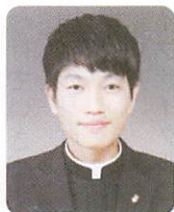
11月 YESへの参加

2015年11月21日～22日に開催された、京都カトリック青年センター主催のYES2015に、済州(チェジュ)教区の青年男子4名青年女子10名が参加しました。参加者全員のために、お揃いのパーカーを準備してくださいました。交流や分かち合いのためには、言葉が大切なので、イヤホンガイドを準備しました。それにより、日本の青年との間で充分、意思疎通が図れたのではないかと思います。

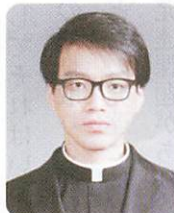
12月 済州教区の晨星(シンソン)女子

中学高等学校の京都教区訪問

ノートルダム女学院中学高等学校と姉



崔(チェ) 師



梁(ヤン) 師

2015年7月から8月にかけて、研

2016年
1月 チェ助祭・ヤン助祭の済州教区での司祭叙階式

妹校である済州教区の晨星(シンソン)女子中学高等学校の20名の生徒が、ソントリン校長先生とともに京都を訪問され、12月16日、大塚司教を表敬訪問されました。



晨星女子中学高等学校

修のために来日された、2名の助祭の司祭叙階式が、1月16日に済州で行われました。

日本からは、小立花忠師、ブ・ヨンホ師、桑名・丹波・山科教会の信徒が出席されました。



5月 済州教区「聖母の夜」への参加と聖地巡礼

5月19日～21日の2泊3日の予定で、鶴山進栄師を団長に、ブ・ヨンホ師の案内で聖地巡礼を計画し、18名の申込みがありました。

信徒養成講座

『現代世界憲章』から学ぶ
第2回「婚姻と家庭の尊厳」続編

ライフサイクルごとの発達課題



定本ゆきこ氏

精神科医、

京都少年鑑別所法務技官

この講話では、「家庭における子どもとの関わり」について、ライフサイクルと発達という視点からお話いただきました。

全ての子どもは日々発達し、次第に社会的存在としてのスキルやあり方を身に

つけていきます。そしてそれはいつも、周りの身近な人々とのやり取りを通して学んでいきます。子どもの発達には、ライフサイクルごとに発達課題があり、この課題を乗り越えて獲得するものがあります。そしてこのライフサイクルのどの時期においても、周りの身近な人とのやり取りが重要です。自分がどのように受け止められているのか、どのような声掛けをされているのか等、獲得したものを土台に、次のライフステージに移行していきます。

乳児期 人間の赤ちゃんは最も未熟な状態で生まれ、一人では生きていけない存在です。その赤ちゃんの依存を養育者（主に母親）がしっかりと受け止めることで、密接な二者関係（＝愛着関係）が生まれます。子どもは依存を受け止められるという、具体的な日常を経験することによって、「自分は世界に受け入れられている」、「歓迎されて生まれてきた」という感覚を持ちます（＝基本的信頼）。この基本的信頼を獲得した赤ちゃんは、

人生において逆境や困難な状況にあっても、楽天的で前向きな構えを持つことができます。逆に愛着関係をしっかりと経験しないと、自分や他人を信じられず、対人関係にも問題が生じます。

幼児期 子どもは2歳半ごろになると、自立性が芽生え、何でも自分でやりたいがあります。愛着関係を確かめながらいろいろなことに挑戦します。この時、周りが「よくできたね」など肯定的な言葉掛けをすると、やればできるという自律性をますます養います。逆に「また失敗した」など否定的な言葉掛けばかり受けると、恥をかく、自分はできないのではないかという疑惑が身につくといわれます。

学童期 目の前の課題に集中して取り組み、達成し自信をつけることで心身が目覚ましく発達します。この時期に大切なことは、本人に合った課題を設定することです。少し頑張ったらできる課題に取り組み、達成するという成功体験が、自信や自己肯定感につながります。周りの

大人から肯定的な声掛けを受け、ほめられることで、次第に自分の好きなことや得意なことができていきます。

思春期 第二性徴を迎え、子どもから大人に移り変わる時期です。そして自分には人にどう見られるのか等、関心の中心が外のものから「自分」に移ります。心の特徴としては、人からのちょっとした言葉掛けや視線等の対人刺激に敏感で、自己像の揺れ動きがあります。また進路や対人関係・友人関係に不安を抱えます。

そのような中で、子どもたちは再び非常に依存的になり、自分を丸ごと受け入れてくれる密接な二者関係を求めます。一方で、大人並みの思考力・判断力で自己主張や反発をします。依存と反発の両方を身近な大人（親や先生）に対して向けます。この時期に家族や大人ができる支援は、依存や反発・自己主張をしっかり受け止めることです。また自分探しの旅に付添い、見守り、できることはしてあげることです。そして子どもが「私は私である」「私は私でいい」という自己

同一性を獲得し、「自分には欠点もあるけれどこんな取り柄もある」というほどほどの自己像を持ち、思春期・青年期を乗り越えることができれば十分です。反対に同一性拡散では「自分で自分がわからない」「自分が生きていく場所がどこにあるかわからない」という状態になり、社会に参加していくことが難しくなります。

子どもにとって家庭とは

子どもが大人に向かって発達していく時、家庭は大きな影響を持っています。子どもの発達にとって家庭は、子どもが日々を暮らし発達する生活の場であり、睡眠覚醒のリズム、食事、整理された空間、関係性（二者、三者以上の関係）という生活環境そのものを形成しています。また、子どもが経験する最も小さな社会——人と人との間で生きる場——でもあります。親という絶対的な依存を向ける対象がいて、子どもが様々な面で守られながら生育するべき場です。しかし、弱

者である子どもには、物理的にも心理的にも逃げるできないという怖さもあります。

子どもの発達・成長は、毎日の循環的な営みの中で進みます。そのために、家庭での生活と関係性において、良い循環が巡ることが大切です。安定した生活リズムと、親が子どもを認め褒めて、子どもが活き活きする関係性の良好な循環があると、子どもはその子らしく成長していくのです。

文責 福音宣教企画室



2015年度カトリック京都司教区事業・決算報告

平素より京都司教区のために、ご支援ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

2015年度（2015年 1月 1日から12月31日まで）の事業及び決算（法人本部並びに小教区）の主な点についてご報告します。

教区の事業について

当年度の大きな事業としては、福知山教会新聖堂（5月）と鈴鹿教会新聖堂（9月）の献堂があります。これは2013年から足掛け3年、総額7億円強の大事業でしたが、大きなお恵みのうちに完成することが出来ました。それぞれの地区における宣教の拠点として発展することを願っています。両教会は河原町教会と共に、今年の「いつくしみの特別聖年」の巡礼教会に指定されました。

また、韓国済州教区との姉妹教区提携10周年を記念して、毎年6月の第1日曜日を「京都済州交流の日」と定め、済州交流基金を設けて特定献金をお願いすることになりました。両教区の交流は下にも記しているように年々活発になっています。

教区本部会計について

当年度の決算は、収入総額479百万円、支出総額644百万円で収支差額は△165万円となりました。これは主に新聖堂建設費支出によりますが、このマイナスの分、保有資金が減少しています。

以下主な点をご説明します。収支の内容は別表を参照下さい。

1. 支出について

神学生養成費は助祭・神学生各1名の養成費です。済州交流費は例年の神学生研修受入れや広島平和巡礼参加などに加えて、10周年を記念して済州こども合唱団と京都聖母学院小学校・ノートルダム学院小学校合唱団とのチャリティーコンサートの開催などによるものです。祭儀費は、花井拓夫師の金祝、菅原友明師の司祭叙階、村上眞理雄師の葬儀費用などです。

建設仮勘定は、福知山・鈴鹿両教会の建設費用ですが、支出が複数年に亘るため、建物などの科目に区分し難いために、15年度の支出額全体を建設仮勘定として計上しました。

なお、この支出に充てるため預金を取り崩しています。

貸付金は主に四日市にある聖母の家学園新築工事のための同学園への貸付です。

2. 収入について

建設分担金収入は、富雄教会のトイレ増改築工事及び精華教会隣接地購入費用の教会分担分として教区に送金したものと（本部にて支払）です。

小教区特定積立金は松阪教会所縁の篤志家からの遺贈で、松阪教会で必要となるまで教区で積立金として保有することになっています。

なお、「その他の収入」の主なものは、聖パウロ幼稚園への土地賃貸に対する長期の前払い収入です。

小教区会計について

当年度の教会維持献金とミサ聖祭献金の合計額は212,529千円で、昨年度の212,325千円よりも204千円の微増でした。このため、教区納付金（A）として教会維持献金とミサ聖祭献金の15%を収めていただいておりますが、当年度は31,677千円となり、昨年度の31,728千円とほぼ同額となりました。

納付金（B）につきましては、趣旨をご理解いただき、予算通りお送りいただきました。経済状況厳しい折ですが、教区財政安定のため皆様の一層のご協力をお願い致します。

2016年 5月

カトリック 京都司教区
本部事務局長 北村善朗

京都司教区 2015年度 教区本部会計収支計算書

自2015年1月1日 至2015年12月31日

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
I 経 常 支 出	205,788	I 経 常 収 入	195,292
1 福音宣教活動費	66,658	1 納 付 金 収 入	150,395
祭 儀 費	2,807	司教司祭司牧納付金	14,966
教 育 養 成 費	1,083	小教区納付金(A)	34,622
神 学 生 養 成 費	6,196	小教区納付金(B)	76,484
諸 委 員 会 活 動 費	3,037	小教区納付金(C)	14,800
教区事業活動費	48,651	小教区納付金(D)	1,066
諸活動団体補助金	300	福音宣教協力金	3,477
アジア交流費	122	建設分担金収入	4,980
済州(チェジュ)交流費	2,840		
国際交流費	515		
会 議 費	1,083		
図 書 費	24		
2 寄 付 金 支 出	30	2 寄 付 金 収 入	25,336
		一般寄付金収入	512
		収益部門収入	24,824
		その他の寄付金	0
3 特 定 献 金 支 出	12,241	3 特 定 献 金 収 入	12,241
4 人 件 費	103,078		
5 維持管理費	4,676		
6 事務管理費	10,131		
7 福音宣教企画室	1,968	4 福音宣教企画室	314
8 大船渡特別献金	7,006	5 大船渡特別献金	7,006
II 墓 地 勘 定 支 出	3,313	II 墓 地 勘 定 収 入	6,818
墓地管理費	1,963	墓地使用料収入	2,080
墓 苑 整 備 費	1,350	墓地祭儀収入	4,738
III 特 別 勘 定 支 出	1,252	III 特 別 勘 定 収 入	18,250
一 粒 会	0	一 粒 会	9,985
一 万 匹 の 蟻	1,252	一 万 匹 の 蟻	1,252
司教座修築積立	0	アジア基金	689
建設資金積立金	0	済州(チェジュ)基金	817
		国際協力基金	507
小教区特定積立	0	小教区特定積立収入	5,000
IV 資 産 支 出	424,064	IV 資 産 運 用 収 入	228,068
土地購入支出	4,560	土地売却収入	2,100
建設仮勘定	395,534		
建 物 付 属	0	預金利息収入	8,661
構 築 物	0	出 資 金 収 入	70
什 器 備 品	130	投資有価証券売却収入	12,217
車 両 支 出	3,392		
貸 付 金 支 出	20,420	車 両 売 却 収 入	20
預 託 金 支 出	28	預 金 取 崩	205,000
V そ の 他 の 支 出	9,646	V そ の 他 の 収 入	30,299
支 出 計	644,063	収 入 計	478,727
当 期 収 支 差 額	▲ 165,336		
支 出 合 計	478,727	収 入 合 計	478,727

京都司教区 2015年度 小教区会計収支計算書

自2015年1月1日 至2015年12月31日

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
経 常 支 出 の 部		経 常 収 入 の 部	
(宣 教 司 牧 費)	69,669	(信 徒 通 常 献 金)	226,110
祭 儀 費	17,174	教 会 維 持 献 金	165,151
司 牧 費	1,906	ミ サ 聖 祭 献 金	47,378
委 員 会 活 動 費	1,990	大 祝 日 (特 別) 献 金	13,581
宣 教 広 報 費	1,830	(特 定 献 金)	15,628
宣 教 育 成 費	699	(特 別 献 金)	108,653
養 成 費	683	祭 式 献 金	19,226
青 少 年 育 成 費	3,110	一 般 特 別 献 金	50,692
新 聞 図 書 費	1,327	宮 繕 献 金	13,233
会 議 費	499	建 設 献 金	22,405
行 事 費	7,592	墓 地 納 骨 堂 建 設 献 金	30
慶 弔 費	5,192	特 別 事 業 献 金	3,067
援 助 費	13,185	(助 成 金 収 入)	360
諸 団 体 分 担 金	14,482	教 区 助 成 金	360
(特 定 献 金 支 出)	15,959	修 道 会 助 成 金	0
(納 付 金 支 出)	120,623	(墓 地 ・ 納 骨 堂 等 収 入)	7,271
教 区 納 付 金 支 出 (A)	31,677	使 用 料 収 入	1,319
教 区 納 付 金 支 出 (B)	69,818	墓 地 祭 儀 収 入	5,952
教 区 納 付 金 支 出 (C)	12,722	(補 助 活 動 収 入)	1,039
教 区 納 付 金 支 出 (D)	1,066	(雑 収 入)	4,280
修 道 会 納 付 金 支 出	360	(資 産 運 用 収 入)	784
建 設 分 担 金 支 出	4,980	預 金 利 息 収 入	616
(運 営 管 理 費)	109,180	受 取 配 当 収 入	168
(補 助 活 動 支 出)	114	信 託 利 子 収 入	0
(墓 地 ・ 納 骨 堂 管 理 支 出)	1,816		
経 常 支 出 合 計	317,361	経 常 収 入 合 計	364,125
財 務 支 出 の 部		財 務 収 入 の 部	
(固 定 資 産 支 出)	60,009	(固 定 資 産 収 入)	30,549
建 物 付 属 設 備 購 入 支 出	2,703	祭 儀 備 品 売 却 収 入	0
構 築 物 購 入 支 出	6,163	器 具 備 品 売 却 収 入	0
祭 儀 備 品 購 入 支 出	2,590	墓 地 使 用 権 売 却 収 入	0
器 具 備 品 購 入 支 出	2,323	特 別 目 的 預 金 取 崩 収 入	30,549
墓 地 使 用 権 取 得 支 出	0		
特 別 目 的 預 金 積 立 支 出	46,230		
(そ の 他 の 財 務 支 出)	8,313	(そ の 他 の 財 務 収 入)	7,910
(資 金 調 整 勘 定)	▲ 1,881	(資 金 調 整 勘 定)	▲ 1,010
財 務 支 出 合 計	66,441	財 務 収 入 合 計	37,449
支 出 合 計	383,802	収 入 合 計	401,574
次 期 繰 越 金	327,063	前 期 繰 越 金	309,291
合 計	710,865	合 計	710,865

5月のお知らせ

教 区

福音宣教企画室/Tel.075(229)6800

日本教会史講座

「丹後地方に開花した福音」

～聖母訪問会の歩みと女子教育～

講 師: Sr. ロマナ関ワカ子(聖母訪問会)

日 時: 21日① 14:00

会 場: 河原町教会 ヴィリオンホール

受講費: 300円

聖書委員会/Tel.075(211)3484 ④⑤⑥

聖書講座「神の正義と神のいつくしみ」

日 時: 11日④ 19:00 12日④ 10:30

テーマ: 導入一創世記一

講 師: 村上 透磨師

日 時: 25日④ 19:00 26日④ 10:30

テーマ: 出エジプト記

講 師: 中川 博道師(カルメル修道会)

会 場: 河原町教会 ヴィリオンホール

よく分かる聖書の学び(ヨハネ福音書を読む)

日 時: 18日④ 10:30

講 師: 北村 善朗師/参加費: 300円

会 場: 河原町教会 ヴィリオンホール

ブロック

奈良ブロック

聖書講座一クレド 今 わたしは信じますー

日時会場: 13日④ 19:00 大和郡山教会

14日④ 10:00 奈良教会

テーマ: 父である神への信仰

講 師: 鈴木 信一師(聖パウロ修道会)

日時場所: 27日④ 19:00 大和八木教会

28日④ 10:00 奈良教会

テーマ: 神のひとり子

イエス・キリストを信じます

講 師: 奥村 豊師

修 道 会

男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

一般のためのカルメル霊性セミナー(松田 浩一師)

日 時: 2日④ 17:00～5日④ 16:00

テーマ: カルメルの聖人たちの

神のいつくしみの御業

参加費: 20,000円 学生: 10,000円

一般のための黙想(中川 博道師)

日 時: 6日④ 17:00～8日④ 16:00

テーマ: イエスいつくしみの愛のもとに留まる

参加費: 14,000円

聖書深読(中川 博道師)

日 時: 14日④ 10:00～16:00

参加費: 2,500円

水曜黙想(松田 浩一師)

日 時: 18日④ 10:00～16:00

テーマ: 神のいつくしみの啓示者

イエス・キリスト

参加費: 3,000円

English Retreat(シスター・ロサ)

日 時: 28日④ 10:00～16:00

テーマ: Come to me you broken hearted.

参加費: 3,000円

聖ドミニコ女子修道会(京都修道院)

Tel.075(231)2017 Fax.(222)2573

みことばを聴こう!

日 時: 21日④ 9:30～11:30

テーマ: ギリシア教父ニュッサのグレゴ
リオスの「雅歌講話」における
人間の精神的道行きについて

講 師: 宮本 久雄師(ドミニコ会)

対 象: 青年男女/会 費: 300円(茶菓代)

ロザリオを共に祈る集い

日 時: 20日④ 10:30～12:00

ノートルダム教育修道女会(唐崎修道院)

女子青年黙想会<神のいつくしみを生きる>

日 時: 21日④ 15:00～22日④ 15:30

テーマ: 闇と光

指 導: 山内 十束師(御受難会)

対 象: 独身女子青年信徒/費 用: 2,500円

締切り: 5月15日④(事前申込要)Sr. 桂川

申込み: Tel.077(579)2884 Fax.(579)3804

諸 団 体

望洋庵/Tel.075(366)8337

青年のための聖書入門講座

日 時: 19日④ 19:00

参加費: 200円(食事代含む)

(誰でも参加可・初めての方大歓迎)

京都カトリック混声合唱団

練 習: 8日④ 14:00/28日④ 18:00 ミサ奉仕後

29日④ 14:00 カトリック会館6階

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習: 12日④ 10:00/26日④ 10:00

カトリック会館6階

聴覚障がい者の会

手話ミサと交流会

日 時: 31日④ 11:00～14:00

会 場: 河原町教会 ヴィリオンホール

参加費: 700円(昼食代)

要申込: Tel・Fax.075(723)1135(傳裕子)

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星.CATV)スカイAスポーツプラス

毎週土曜日 朝7:45

シリーズ「小さな気づきを大切に」

出演は阿南 孝也氏(洛星中学高等学校 校長)

ラジオ(KBS京都) ④～⑤ 朝5:55

④ 朝5:15

5月のテーマ「人生の教訓」

※ 7月号の原稿締切り日は5月25日④です。

大塚司教の

5月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日㊥ 10:00 奈良ブロック司教訪問
(富雄)
- 2日㊥-6日㊤ 十勝カルメル会 訪問
- 8日㊥ 11:00 洛北ブロック司教訪問
(衣笠)
- 10日㊤ 15:00 青少年委員会
- 12日㊤ 10:00 中央協 常任司教委員会
- 13日㊤ 18:00 追悼ミサ(東京・豊島教会)
- 14日㊥ 10:30 小教区評議会役員研修会
(河原町)
- 15日㊥ 14:00 京都南部地区 合同堅信式
(河原町)

- 16日㊥ 14:00 司教顧問会
- 17日㊤ 14:00 (社福)カトリック京都司教区
カリタス会 理事会
- 18日㊥ 14:00 (学法)カトリック京都学園・
京都南カトリック学園 理事会
- 19日㊥ 「求道者に同伴する信徒」の
養成講座 まとめ
- 22日㊥ 14:00 三重地区 合同堅信式(鈴鹿)
- 25日㊥ 14:00 (学法)滋賀カトリック学園
理事会(大津)
- 26日㊥ 10:00 名古屋教区司祭月修
ユスト高山右近講演
- 27日㊤ 13:30 メリノール女子学院 理事会
- 28日㊥-29日㊥ 長崎教区
(ユスト高山右近関係)

新年度青年センター 運営委員挨拶

<京都南部地区>

今年も運営委員継続することになりました。仕事など、忙しく、なかなか教会にも青年センターにも行けてないですが、できる範囲でがんばっていききたいので、青年活動の応援、お願いします。

(山科教会 田川 愛美子)

今年度も京都南部地区の運営委員を務めさせていただきます。今年で最後かもしれませんが、教区の青年活動の一助となれるよう努めます。(河原町教会 栗山 透)

京都南部地区担当、河原町教会所属の奥埜のぞみです。今年度も、運営委員としてがんばりたいと思います。

青年たちが同じ信仰をもつ仲間と出会い、交流し分かち合うことを通して、信仰をさらに強いものにし、キリスト者として社会へ歩んでいけるよう、手助けできたらと思います。皆様、青年たちのために祈りとご支援よろしくお願いします。

(河原町教会 奥埜 のぞみ)

<京都北部ブロック>

今年度は、もっとたくさんの青年と交流し、わかちあいを通して自分のことをふりか

えり、考えることができるようなかわりをしていきたいです。YESや5月に行く合宿などで青年同士をつなげ、聖書の集いを通して様々な信仰体験を分かち合っていきたいです。青年のために祈りを願います。

(西舞鶴教会 小林 真衣)

京都北部担当 西舞鶴教会所属の小林まなつです。京都教区の青年活動が盛り上がるように頑張ります！よろしくお願いします！

(西舞鶴教会 小林 まなつ)

<滋賀ブロック>

今年も引き続き運営委員を担当させていただきます。青年センターでは聖書を通して共に分かち合ってお祈りをし、青年との交流を大切にしています。そんな場所があることをもっとたくさんの青年たちに知ってもらえるよう努めていきます。お祈り頂ければ幸いです。

(唐崎教会 木村 哲朗)

<三重地区>

三重地区運営委員の濱口聡子です。

前年度に引き続き活動させていただきます。運営委員会、交流会を行う際には、ぜひ三重地区の教会にも足を運んでいただくと嬉しいです！ よろしく願います。

(伊勢教会 濱口 聡子)